

# 巴川流域麻機遊水地 自然再生全体構想



平成 19 年 3 月

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会



# も く じ

## 第 1 章 自然再生の対象となる区域および概要

1.1	麻機遊水地の概要	1
1.2	自然再生の対象となる区域	3
1.3	地形および地質	4
1.4	流域の歴史	6
1.5	麻機の歴史	6
1.6	治水の歴史	8
1.7	麻機遊水地周辺の土地利用の概要	10
1.8	流況・水質	12
1.9	麻機遊水地内の表土	16
1.10	流域の自然環境	17
1.11	麻機遊水地の自然環境	19
1.12	風習・風俗	26
1.13	麻機遊水地の利用・活動	27
1.14	麻機遊水地および周辺の関連事業計画	28
1.15	麻機遊水地の課題	31

## 第 2 章 自然再生目標

2.1	麻機遊水地の目指す自然の姿	39
2.2	自然再生の目標	40
2.3	ゾーニング計画	47

## 第 3 章 自然再生協議会組織および役割分担

3.1	巴川流域麻機遊水地自然再生協議会設立趣意書	49
3.2	巴川流域麻機遊水地自然再生協議会設置要綱	50
3.3	巴川流域麻機遊水地自然再生協議会名簿	52
3.4	役割分担	53

## 第 4 章 その他必要な事項

4.1	第 4 工区のダイオキシン類対策	54
-----	------------------	----

参考資料(本文中の用語解説)	55
----------------	----

# 第1章 自然再生の対象となる区域および概要

## 1.1 麻機遊水地の概要

麻機遊水地は、二級河川ともえがわ巴川の中流部に位置し静岡駅の北方約5kmにある。この地域は、北にりゅうそうざん竜爪山南縁の山々と西のしずはたやま賤機山に囲まれた標高約7mの低湿沖積地帯である。昔は安倍川の表流水や伏流水が流れ込み、あさはたぬま浅畑沼をはじめ大沼・小沼など大小の沼が存在していたが、水田への土地利用が図られ徐々に姿を消していった。

巴川は麻機低地の下流部でながおがわ長尾川やしおだがわ塩田川などと合流し、大きな曲線を描きながら緩やかに市街地を貫流した後、しみずこう清水港のおひどわん折戸湾口に注ぐ延長約18km（幹川流路延長）、流域面積約105km<sup>2</sup>の二級河川である。流域は市街化が急速に進み、平地部を流れているためこれまでに幾度となく甚大な浸水被害に見舞われた。昭和49年7月7日から8日にかけて発生した集中豪雨（たなばた七夕豪雨）では、浸水家屋約26,000棟という被害を記録し、巴川はこれを契機に昭和53年度に国において新たに創設された総合治水対策特定河川に指定された。

巴川流域における総合治水対策は、多目的遊水地（麻機遊水地、おおうちゆうすいち大内遊水地）の整備、巴川中下流部の狭さく箇所おおやがわの拡幅、大谷川放水路の建設を河川施設整備の主要施策として事業に着手している。麻機遊水地の整備は、第4工区が昭和50年、第3工区が昭和55年から着工され、いずれの工区も概成しており、現在は第1工区（平成12年度着手）を進めている。

麻機遊水地は、整備以前には水田であったことから遊水地の整備により水田が掘り起こされ、土中に埋もれていた種子（シードバンク）からミズアオイなどの湿生植物が蘇り、また、池沼部が形成され開放水面が増えたことにより、野鳥をはじめとする多くの動植物が生息・生育する貴重な湿地となった。麻機遊水地は、全国最大級のミズアオイの自生地として、また、タコノアシなどの絶滅危惧種が多いことから、環境省より平成13年に「ウエットランド500（日本の重要湿地500）」に指定された。

しかし、現在は植生遷移や外来種の移入・異常繁殖により在来種や絶滅危惧種などの生息・生育環境が失われ、また雑排水の流入による水質悪化などに起因して、麻機の生態系のバランスが崩れはじめている。

また、心無い市民による麻機遊水地およびその周辺へのゴミの不法投棄や、一般車両の乗り入れが禁止されている遊水地内への無断進入が後を絶たない状況が見られるなど、市民や利用者のモラルに関する課題も多く抱えている。

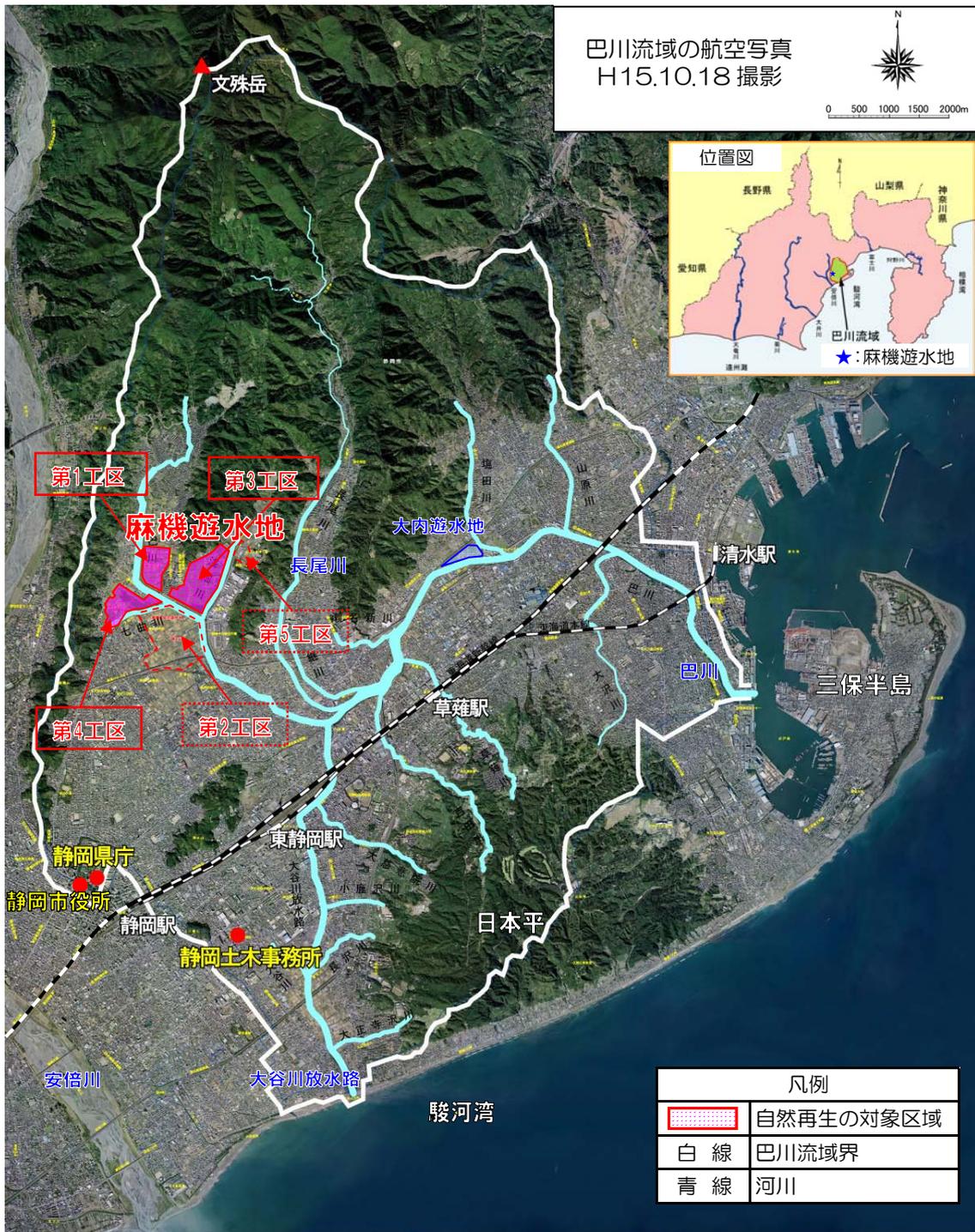


図 1-1.巴川流域図

**【麻機(あさはた)】**

「あさはた」ともいい、浅服・浅畑とも書く。巴川中流部・浅畑川流域の低湿地帯に位置し、古くはとり服部荘麻機郷と称し(駿河記)、地名は麻の織物を産したことになむという(麻機村誌)。

山麓のやや高い所にある集落を縫って駿府城下に通ずる道は麻機街道と称し、大岩に属する平ヶ谷村と当郷6か村には天神社が祀られ七天神と称した(駿河志料)。竜爪山南側斜面は奥山と称され、麻機の村々の入会地であった。水田は深田が多く、巴川の氾濫でしばしば被害を受け、低湿地帯特有の農産物や田下駄などの特有の民俗を有した。

参考文献：角川日本地名大辞典

**【麻機遊水地の工区名称】**

麻機遊水地の工区名(第1工区から第5工区)は、農作物の生産性の向上を目的とした静岡北部土地改良事業(昭和38年から48年)の工区名称に由来する。